

平成五年度第一回研究報告会

日時 平成五年六月二十三日（水）午後二時四〇分

場所 一号館一三二教室

報告者・中村雅子助教授

テーマ・物質主義―脱物質主義仮説の日本における適合性について

概要・物質主義―脱物質主義仮説はR・イングルハートが提唱した価値意識の世代交代に関する仮説であり、日本においても多くの議論がなされている。政治・投票行動に対する説明力の高さと欧米において評価が高い仮説だが、日本では、従来、投票行動への影響力が少ないとされる。しかし今回の分析で、多変量解析で総選挙の結果を検証したところ、日本の政治意識の特性を加味した類型を用いると、無視できない説明力があることが確認された。

平成五年度第二回研究報告会

日時 平成五年十一月二十四日（水）午後二時四〇分

場所 一号館一三二教室

報告者・村上和夫助教授

テーマ・観光地における異文化交流と異文化対応 ― 観光の効果に関する国際研究から ―

概要・海外研修の成果を踏まえ、経済発展国間における交差文化観光（cross cultural tourism）振興上の問題点を、日本人観光者のカナダ国内観光地での滞在を事例に報告した。

発展途上国あるいは伝統的な文化を持つ地域における国際観光の振興は、欧米型多国籍資本のホスピタリティ産業の導入が、経済効果を媒介に観光地の地域社会に大きな社会文化的影响を与えるが、同産業が欧米の伝統文化の薄い観光地で日本など異文化からの観光者を受け入れる場合、同様に大きな経済効果は派生するにもかかわらず、地域の社会文化への影響が少ないことを示唆した。

報告者・Hirohide Hinomoto イリノイ大学名誉教授

テーマ・米国コンピュータ事情を散策する

平成五年度研究助成金交付者

朝倉哲夫教授、橋本貞雄教授、中川 徹教授、渡部哲郎教授、徳田英明助教授 以上五名。